

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
2019 年度 事業報告
(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

I 事業概要

2019 年度事業計画に基づき、安全で安心できる社会の実現に資する各事業を推進するとともに、設立 10 年事業として 10 年史の編纂や小中学生を対象とした「いのちの作文・俳句コンクール」を開催した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、当初計画していた一部の事業について中止した。

1. 心身のケアに関わる事業

(1) グリーフケアに関わる人材養成講座への助成（上智大学グリーフケア研究所人材養成講座）

誰もが安心して悲嘆等に伴うこころのケアを受けられる社会を目指し、グリーフケアに関する専門知識・技能を持って実践に携わる人材や地域社会においてグリーフケアを提供する市民ボランティアを養成している上智大学グリーフケア研究所の「グリーフケア人材養成講座」に対し、寄付助成を行っている。

「グリーフケア人材養成課程（2 年制）」を開講、2019 年度は 32 名が入学し、うち 29 名が 2 年次に進級、2018 年度に入学した 2 年次生の 35 名が課程を修了した。また、日本スピリチュアルケア学会が認定する「スピリチュアルケア師（認定）」の資格取得を目指すための課程である「資格認定課程（1 年制）」には、14 名が入学し、12 名が修了した。

(2) 「いのちのセミナー」の開催

「さまざまな いのちに向き合い いのちを想う」をテーマに、多様な観点から「いのち」をとりあげ、「いのち」について深く考える機会を多くの方に提供することを目的に、「いのちのセミナー」を開催した。全 8 回の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、3 月に予定していた第 8 回を中止した。

・第 1 回開催概要（会場：松下 IMP ホール、時間：13:30～15:00）

日付	講師	参加者
6/ 2(日)	柳家 花緑 落語家	約 770 名

・第 2～7 回開催概要（会場：毎日新聞オーバルホール、時間：18:30～20:00）

日付	講師	参加者
8/ 2(金)	宮田 修 千葉県熊野神社宮司、元NHKアナウンサー	約 440 名
8/23(金)	大津 秀一 早期緩和ケア大津秀一クリニック院長	約 430 名
9/ 5(木)	金菱 清 災害社会学者、東北学院大学教授	約 440 名
9/27(金)	吉田 実盛 天台宗鶴林寺塔頭真光院住職、叡山学院教授	約 430 名
10/17(木)	入江 杏 世田谷事件被害者遺族、「ミシュカの森」主宰	約 420 名
11/ 8(金)	沼野 尚美 宝塚市立病院緩和ケア病棟チャプレン・カウンセラー	約 430 名

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、第 8 回については開催を中止した。

第 8 回開催概要（日時：3/15(日) 13:30～15:00、会場：松下 IMP ホール、定員：800 名）
講師：米良 美一（カウンターテナー歌手）

2. 地域社会の安全構築に関わる事業

(1) 「安全セミナー」の開催

近年数多く発生し、大きな被害をもたらしている風水害に対する備えと対応について、一人ひとりが具体的にどのように行動すればよいのか、市民・地域社会への啓発活動として以下のセミナーを開催した。

<開催概要>

日 時：2020年2月16日（日） 13時30分～15時30分
会 場：大阪工業大学 常翔ホール
講 演：片平 敦 気象予報士、防災士、一般社団法人AD I 災害研究所理事 株式会社ウェザーマップ専属気象予報士 「いのちを守る『情報』と『こころ』～あなたとあなたの大切な人を災害から 守るために～」
参加者：約440名

(2) 「救急フェスタ in 大阪 第7回いのちのリレー大会」の開催等

幅広く救命処置の重要性について知っていただくことを目的に、JR西日本や消防、関係団体等と連携・協力のうえ、「救急フェスタ」を開催し、イベントの中心である「いのちのリレー大会」にはこれまでで最も多い28組が参加し、救命処置の的確さを競ったほか、心肺蘇生・AED体験コーナーをはじめ、駅ホーム非常ボタンの体験などを行っていただいた。

<開催概要>

日 時：2019年10月27日（日） 13時00分～16時00分
会 場：大阪駅 5階 時空の広場
内 容：①いのちのリレー大会 28組（84名） 小学生や中学生、高校生から一般まで28組84名が参加した。倒れている人を発見してから救命処置を行い救急隊に引き継ぐまでの一連の流れを3人1組のチームで協力して行い、その的確さを競った。4ブロックに分けた予選から各ブロック上位2チームが決勝に進出し、大学生のチームが優勝した。
②その他 体験活動 AED体験 49名 駅ホーム非常ボタン体験 103名

(3) AED訓練器等の助成による救命処置の普及啓発

救命処置の普及を進めるべく、救命処置の普及啓発活動を積極的に行う団体を公募し、AED訓練器・訓練人形を助成した。

	学校	NPO法人	その他	計
応募件数(セット)	3(11)	2(10)	17(49)	22(70)
助成件数(セット)	1(1)	2(4)	9(15)	12(20)

3年間の助成対象期間終了となった団体との結びつきの継続、団体同士の交流が深まることによる普及啓発活動の活性化などを目的に、AED訓練器等助成活動成果報告会を初めて開催した。

<開催概要>

日 時：2019年7月14日（日） 14時30分～17時30分
会 場：グランフロント大阪 タワーB カンファレンスルーム
内 容：助成期間終了団体からの活動報告、救命処置に関わる講演、意見交換
参加者：約50名

3. 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

(1) あしなが育英会への助成

事故や災害、病気等様々な理由で親をなくした子どもたちへの心のケア活動の一環として取り組んでいるあしなが育英会主催の「高校奨学生をつどい」及び小・中学生を対象とした「キャンプのつどい」に対し、寄付助成を行っている。2019年度は、関西地区における「高校奨学生をつどい」が、8月14日から17日まで、総勢261名の高校奨学生及びリーダー役・運営スタッフの先輩奨学生たちが参加し開催された。また、小・中学生を対象とした「キャンプのつどい」が、8月22日から24日まで、総勢42名の子どもたち及び学生ボランティアが参加し開催された。

(2) いのちの電話（近畿ブロック7団体）への助成

現代社会を生きる中で深刻な悩みを抱え、助けを必要としている人からの電話相談を行っている「いのちの電話」の相談員のスキルアップやメンタルケア等に関する取り組みに対し、寄付助成を行っているが、引き続き近畿2府4県の7団体に対して助成を行った。

(3) 地域における各種活動等に対する支援協力

当財団では上記のほか、財団の設立趣旨に合致し公益性や社会的必要性が高いと認められる活動に対し協賛を行っている。

- ① 京阪神に拠点のある遺族会が、個々の遺族会のレベルアップを目指して実施する勉強会を盛り込んだ交流会の開催に対し、協賛を行った。
- ② 公益財団法人日本AED財団による、学校教育を基盤に全ての国民が心肺蘇生教育を受けることのできる環境整備を目的とした活動に対し、協賛を行った。

4. 公募助成事業

(1) 「2020年度公募助成（活動及び研究）」の実施（募集、審査、決定）

当財団では、設立初年度より、事故・災害に対する備えやその後のケアに関連する活動・研究を対象とした公募助成を実施している。

2019年度は、2020年度に行われる活動や研究を対象とした助成事業について、公募を実施した。応募のあった150件について審査した結果、68件、5,089万円の助成を行った。採択率については45%となった。

なお、例年3月に実施している、採択された団体や研究者を対象とする贈呈式は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。

<応募・助成状況>

	応募件数	助成件数	金額
活動助成	59件	34件	2,104万円
活動助成(特別枠)	38件	26件	1,615万円
研究助成	53件	8件	1,370万円
計	150件	68件	5,089万円

(2) 第9回公募助成成果発表会

助成活動の成果の社会的還元や助成先同士の交流などを目的に、2018年度に実施された助成活動及び研究の成果発表を行う「成果発表会」を開催した。

<開催概要>

日時：2019年7月30日(火) [発表会] 13時30分～16時30分(ステージ発表) [交流会] 16時45分～18時00分(ポスター発表含む) 会場：ホテルグランヴィア大阪 発表者：36団体(ステージ発表8団体、ポスター発表28団体)、研究者2名 参加者：約100名(発表者、傍聴者、役員等)
--

5. 設立10年事業

(1) 10年史の発行

当財団が設立から10年を迎えたことをふまえ、これまでの事業の変遷や活動実績を記録するとともに、広く配布することで認知度を高めるため、「10年史」を発行した。

- ・発行部数：1,000冊
- ・配布先：図書館、社会福祉協議会、大学、消防、助成先等

(2) 「いのち」の作文・俳句コンクールの開催

子ども達に作文・俳句の作成を通じて「いのち」の大切さを考えてもらうとともに、優秀な作品を世の中に発信することで、「いのち」を大切に作る「安全で安心できる社会」の風土づくりにつなげていくことを目的に、「『いのち』の作文・俳句コンクール」を開催した。

近畿2府4県の小・中学生を対象に募集し、作文4,614作品、俳句22,675句の応募があった。

優秀作品330作品(作文169作品、俳句161句)を選考し、優秀作品を掲載した作品集を作成するとともに、表彰式を開催した。

<表彰式開催概要>

日時：2020年2月2日(日) 14時00分～16時30分 会場：いずみホール 内容：表彰、ミニコンサート、講演、記念撮影 参加者：約330名(入選者88名、学校賞8名、家族等)
--

II 財団運営に関わる事項

1. 機関運営（評議員会、理事会、事業審査評価委員会等の開催）

(1) 評議員会

開催回数：2回

決議事項等：2018年度計算書類等の承認、評議員の選任、理事の選任

(2) 理事会

開催回数：5回

決議事項等：業務執行状況報告のほか、以下の事項について決議を行った。

2018年度事業報告及び計算書類等の承認、事業審査評価委員会委員の選任、AED訓練器等助成事業審査委員会委員の選任、評議員会の招集、代表理事（理事長）及び業務執行理事の選定並びに常務理事の選定、2019年度収支予算の変更の承認、上智学院への助成実施の承認、いのちの電話への助成実施の承認、2020年度公募助成（活動及び研究）」の採択決定の承認、2020年度「上智学院、あしなが育英会、いのちの電話」への助成の承認、2020年度AED訓練器等助成事業における採択決定の承認、2020年度基本財産の運用基本方針の承認、2020年度事業計画及び収支予算の承認、2021年度公募助成（活動及び研究）の基本方針の承認、2021年度AED訓練器等助成事業の基本方針の承認、臨時評議員会の招集、代表理事（理事長）の選定

(3) 事業審査評価委員会

開催回数：3回

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

2018年度助成事業の実績・成果等の確認評価、2018年度事業報告（案）、2020年度公募助成の内容及び方法に関する指導・助言、2020年度公募助成（活動及び研究）の審査、2020年度公募助成（活動及び研究）の選考、2020年度助成先の審査、2020年度事業計画（案）に対する指導・助言、公募助成のあり方

(4) AED訓練器等助成事業審査委員会

開催回数：2回

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

2018年度AED訓練器等助成事業の実績・成果等の確認評価、2020年度AED訓練器等助成事業の内容及び方法に関する指導・助言、AED訓練器等助成活動成果報告会の開催、2020年度AED訓練器等助成事業の審査、活動成果報告会の開催

2. その他

(1) 基本財産の運用

基本財産20億円は、西日本旅客鉄道株式会社の無担保社債（20年物）により10億円、国債（20年物）により10億円を継続して運用した。

(2) 広報活動及び情報公開

当財団のホームページにおいて、財務資料等の基本情報の開示や財団事業の実施概要、実施結果等の公表を行った。また、事業実施時におけるプレス発表のほか、JR主要駅へのポスター・パンフレットの掲出、財団紹介用パンフレットの製作・配布、広報誌「R e l i e f」の発行（2019年4月、7月、10月、2020年1月）、日本AED財団が作成し小学校に配布する心肺蘇生法副読本への協賛、「10年史」の配布に加え、「作文・俳句コンクール」の実施にあたっては校長会や学校への広報を行うなど、財団事業の認知度向上のための広報活動を実施した。

(3) 報道実績

- ・「いのち」の作文・俳句コンクール作品募集／産経新聞（6/3・朝刊）、大阪日日新聞（6/17・日刊）
- ・第2回・第3回いのちのセミナー参加者募集／大阪日日新聞（6/8・日刊）
- ・第4回・第5回いのちのセミナー参加者募集／大阪日日新聞（7/21・日刊）
- ・第4回いのちのセミナー参加者募集／産経新聞（7/31・朝刊）、神戸新聞（8/1・朝刊）
- ・公募助成成果発表会／大阪日日新聞（8/5・日刊）
- ・第5回いのちのセミナー参加者募集／神戸新聞（8/16・朝刊）、神戸新聞（8/24・朝刊）
- ・AED 訓練器等助成事業助成先募集／大阪日日新聞（8/16・日刊）
- ・広島土砂災害5年尼崎脱線事故遺族がライブ [助成先：虹色の音] ／中国新聞（8/20・朝刊）
- ・いのちのリレー大会出場者募集／大阪日日新聞（8/24・日刊）
- ・JR西日本あんしん社会財団 設立から10年／交通新聞（8/27・日刊）
- ・第6・7回いのちのセミナー参加者募集／大阪日日新聞（9/11・日刊）
- ・第6回いのちのセミナー参加者募集／産経新聞（9/14・朝刊）
- ・「公募助成事業」募集開始／読売新聞（10/9・朝刊・岡山版）、山陽新聞（10/20・朝刊）
- ・「救急フェスタ in 大阪『第7回いのちのリレー大会』」／大阪日日新聞（10/25・日刊）、朝日放送（10/27・ABCニュース）、大阪日日新聞（10/28・日刊）、読売新聞（11/2・朝刊）
- ・「安全セミナー」募集開始／大阪日日新聞（1/4・日刊）、産経新聞（1/8・朝刊）
- ・117KOBEB ぼうさい委員会の活動（第7回リレー大会）[AED 助成先] ／神戸新聞（1/17・別冊）
- ・「いのち」の作文・俳句コンクール表彰式／関西テレビ（2/2・プライムニュース）、産経新聞（2/5・朝刊）、大阪日日新聞（2/7・朝刊）、読売新聞（2/14・朝刊・姫路版）
- ・第8回「いのちのセミナー」募集開始／大阪日日新聞（2/4・日刊）
- ・関西遺族会ネットワークの活動 [協賛先] ／神戸新聞（2/17・朝刊）
- ・公募助成事業助成先決定／大阪日日新聞（3/20・日刊）
- ・AED 訓練器等助成事業助成先決定／大阪日日新聞（3/29・日刊）